

HARLEM

SPIT'EM OUT! "it's absolutely raw"



Special Interview DJ HAZIME

音楽を、サッカーを、そして現場を愛するDJ HAZIMEの約1年半振りの巻頭インタビュー。DJ PLAY以外にもDABOをはじめ、各アーティストとのプロデュースワークをこなし、5/29に発売されるHARLEMコンピレーションアルバム「HARLEM ver.1.0」でもプロデューサーとして参加、「現場主義」のDJ HAZIMEならではの作品を提供してくれているのでNO DOUBT共々要チェックです。

●DJ HAZIMEからみたここ最近のシーンの変化は？

クラブに関して言えば、一般層が確実に増えてますよね。なおかつ曲や雰囲気を楽しんでくれる人が増えてるかな。土曜日に関して言えば、初めて来た人でも楽しめるような空気をオレもTAIKI君も作ってるつもりだから。楽しい空気を作っているから一般層が増えてもって底辺が広がったというか、HIP HOP、R&Bが好きの子ばかりじゃなくて、普通にクラブで遊ぶ人が増えて、その中で楽しめる人が増えたと思う。HIP HOPのシーンに関しては、メジャーと契約するアーティストが増えたでしょ？メジャーからいろんなアーティストが出せるようになってそれはいい事だと思うよ。プロモーションビデオが作れてMTVやスペースシャワーでも流れるし、渋谷の街に広告がバーンと出るようになって、今までHIP HOPを聴いた事がなかったような人が聴く機会も増えるだろうし、そういう環境は整ってきたと思うよ。具体的にどういう変化があったかって言われるとオレはそういう見えない目の変化しかわからないけど。シーンってよく言うけどさ、オレは現場以外にシーンは無いと思っているから、何を見てシーンなのかはやってる側とそこに居る客しかわからないと思うんだよ。人がいっぱいいて、いいリアクションが返ってきたりその場の空気が良かったりっていうのがその場の一瞬一瞬のシーンだから、シーン自体が盛り上がってる＝そういう場が増えたりっていう事だと思うんだよ。

あとね、最近DJブースを見て踊る人が減った。確かにDJを見ながら踊るっていう習慣は日本のクラブであったし、DJのポジションが確立されればされるほどDJを見て踊る人が増えたと思うのね。ディスコの時ってDJは誰でも良かったし、誰か回しているか全然興味なかったけど、そこはディスコとクラブは全然違って、クラブはDJ自身の名前があがってくればそれを見に来る訳じゃん。「見に来る」っていう表現自体変なだけども。よく「今日DJ〇〇が来るけど見に行く？」とかさ「見る」って表現するけど、実際は見に行く訳じゃないじゃん。でも名前が出れば出る程、DJを「見」に来る客が増えて、一時期はみんな何故かブースを見て踊っていたり。でもオレらはブースの中でおもしろい顔して客を笑わせたりしないし、ポーズ決めてる訳でもないし、別に何する訳でもないのよ。ただレコードをかけてその場の空気を作る事に専念しているから、そんなに見られても何にもしないよって感じ。特にハーレムなんて胸か上しか見えないんだから。でも最近はそのごくごく減ったと思う。みんなDJブースなんて見なくとも凄くいい雰囲気踊っているから、それはここ1年でホントに変わった所だと思う。

●最近のNO DOUBTは？

今までの中で一番いいと思う。現時点が状況的には一番よくて、いい雰囲気でも入ってるし、すごくみんなが楽しめている。演出している側が言うのもなんだけど、そういう空気は作れていると思うよ。

●演出の仕方での変化はありますか？

今までより1週増えて3週連続で出来るからいろいろのテストが出来たようになった。最近よくやっているのは、あえてメインの時間に1回落としてみる。もちろんイケイケの雰囲気の中でいきなり落とすのじゃなくて、フェイドアウトしていくような感じで。一度落としてみてまたそこからあげていく作業をするんだけど、落とした時でも客は絶対落ちきらない。そういうテストが出来たようになったね。

それとオレが今まで意識してきたのは、最後までどれくらい客を残すか、なおかつイケイケじゃなくしっとりした曲でどれくらい気持ちよく踊ってくれるかって事。やっぱり最後は気持ちよく帰って欲しいんだよ。前は終わってから「あ〜今日もダメだったあ」とか反省していたのが、最近は回数が減ったかな。オレとしては最後はもっとエロエロで、スロージャムでずっと男と女がペアで踊っていたら最高なんだけど。スロージャム1時間くらいやりたいもん。そういうのもアリなんだけど、でもまだダメなんだよ。でもめげないでエロイのをどんどんかけるようになって、最近人が増えてきてうまくいくからいい感じ。残っているって事は楽しんでいるんだろし、気持ちいいから残っているんだろしね。最後の閉め方ってDJによっていろいろ

違うからこれが絶対だとは思わないけど、オレはこういうのが好きで「オレが楽しいクラブ」というのを少しずつでも出して行けて、それがお客さんに伝わっていけばいいかなと思う。

●地方営業で感じた事は？

やれる事ならば途中で地元の子に変わるのではなく、一人で一晩やりたいくらいだね。地方も前に比べれば全然良くなってきているよ。地方に関しては、いいDJが地元の箱にちゃんと付いていて、毎回いい音を提供出来ていい空気を作る事が出来るDJがいるかいないかだね。その状況はちょっとずつ変わっている所もある。やっぱり地元の子がいい事をやっている所はちゃんと盛り上がっているし。

●DJ HAZIMEが思ういいDJとは？

その場にいる全員を楽しませる事が出来るDJが完璧だと思ってる。現場を盛り上げる事が出来ないDJはクラブでやらなくてもいいんじゃないって。でもクラブで経験だからさ、1回ダメだったらハイダメっていう訳にもいかないじゃん。オレの理想はそこにいる全員を喜ばせるといよりか、全員が楽しんで欲しい。やってる方も楽しいからさ。要は楽しんでるお客さんを見てオレが楽しんでるわけ。お客さんのリアクションが良ければオレもさらにのってくるし。クラブなんて言葉ではないやりとりだからさ。

●制作について。

制作はクラブでかけてこうなったらいいなとか、あの時間にああいう曲かけたんだよねーというの形にするんだよ。あくまで箱でかける事を設定して全部作っているから。クラブでかけて生きたような曲じゃないと作りたくないし、今作れないかも。オケを先に作って、ラップをのせるでしょ。その時にこういうサビだったら客が言えるでしょ、ここで抜けるかなあとかそういう感じなのね。最終的にはクラブにたどり着ければいいと思う。クラブでやってるDJじゃないと作れないようなトラックを作って、プロデューサーの概念みたいなも学びつつ結局クラブに戻ってくればいいやって。オレがその時欲しかった音を作ったり、ああいう曲かけたいという曲を作ったり、全部クラブの為に曲作ってるし、クラブでかけられない曲は今のところ作る気ないかな。

●どのくらいの期間で作るのですか？

期日が決まってるから(笑)。期日決まらない時はレコードずっと触ってるよ。だってオレは制作がやりたくてDJやってるんじゃないで、DJがやりたいからDJをやっている訳で、出来ればずっとターンテーブルを触っていたいと思う。だけどDABOとかSHAKKAZOMBIEがいなかったら今のオレはない訳だし、ラッパーのバックDJとして培われた経験が何らかの形に出てる。例えば針が飛んだ時のフォローが早いとか、クラブレイで当たり前にある事のリカバリーが早かったりするのライブをやった事によって培われているものかも知れないね。自分ではそんなのわかんないんだけど、やっぱりラッパーにすごく恵まれた環境でDJやってこれたから、これからもそういうラッパーのプロデューサーはやりたくなくなっちゃうだろうな。

●各アーティストとの制作行程は？

DABOに関しては、オケを最初何曲か作って、その中からDABOが何曲か抜くの。「PINKY」は、4曲くらい作った中の1曲。DABOはオレがこうしたいなって思って作ったものに対し、そういうリリックを書くんだよ。「PINKY」なんて、サビのTYLERが歌った部分も、オレは作って、その時点でサビは絶対女の子に入れたいって思って、でも何にも言わなかったのに入れたもそう思ったみたいで。DABOはHARLEMに来てオレがいつもDJしているの聴いてるからどういのが今フロアでウケているのかみたいのもなんとなくわかってるんじゃない？DABOに関しては、やりとりはもちろんするけど言わなくても通じてるものがある。

今回のHARLEM ver.1.0に関しては、先にトラックを作った時点でテーマをみんなに言って「やさぐれパーティ」だからそういうリリック書いてきてって言ったよ。オレ仕切りでDABOに頼む事ってMIX TAPEのフリースタイル以外今までなかったけど、今回は完全にオレ主導だったし、1曲しか作らなかったから。小節もサビの尺も、最後のサビは2回やるっていうのも全部オレが決めた。その上でラッパーに「その中の16小節



で題材はこういう感じだからやって」という感じ。

●ROC-A-FELLAのMIX CDをリリースした事により感じたことは？

これをする事によって雑誌やラジオで発言する機会が増えた事は良かったと思う。今までDJってトラック作らないと発言権がなかったじゃん。純粋にクラブDJとしてのインタビューってあんまり見たことないんだよ。例えば「先週土曜日のHARLEMが凄かったの」ってインタビューしたいんですけど、でもラッパーは「あのシングルが凄かったからちょっとインタビュー録りたい」って思われる訳じゃん。でもDJもしゃべるしさ、こういうオフィシャルの仕事をやってメディアにいっぱい出る事によって、DJはこういう事を考えてやっているんだみたいな事がもっと世の中にわかってもらえる訳じゃん。そういうチャンスであったことは確かだね。もちろんROC-A-FELLAというフィルターを通しての発言になっちゃうけど、だけどオレはこういう風に考えてクラブでやっているんだよ、こういう風に考えてTAPEやCDを作っているんだよっていうのが発言出来る場があるから、今回は話が来た時点で二つ返事でやりますって。

オレに関して言えばトラック作る前はクラブでの評価しかないわけ。でもどれだけいいDJやってどれだけ人を盛り上げてインタビューには来ないからメディアに出る事はないでしょ。もっとDJがDJとしてインタビューを受ける機会があってもいいんじゃないかと思う。DJは作品じゃないし、生ものだし、クラブは誰かが録音していない限りその人の記憶にしか残らない訳じゃん。だけど盛り上がっていた瞬間というのは誰が見てもわかる訳じゃん。だから、先週の土曜日すごく盛り上がったからインタビュー録りたいって所もあってもいいと思うんだ。今は客を盛り上げていっているという自信があるから言える事であって20歳の時は言えなかったよ、こういう事は。だから今回ロッカフェラのMIX CDを出した事によって、DJとして世に出る機会があった良かったなって思いました。

●5/29に発売されるコンピレーションアルバム「HARLEM ver.1.0」に収録される作品について

やっぱり基本は現場でかけられるようにだね。NO DOUBTアンセムになってるから、土曜日にパッとかけたら「NO〜DOUBT〜」って言えるようになってるんだよ、ちゃんと。これはサービスだからね。ちゃんとサビを歌えるようになってるからさ。オレは渋谷出身なので土曜日は渋谷のクラブでDJやってますっていうのが最高だから、そんな土曜日のアンセムをただ作りたかったんだよ。楽しくないとやれないのね、オレ。楽しい事しかしたくないし、辛い事とか命令されて仕方なくしたくないから。楽しい事を楽しむには楽しいものを作りました。ドーンってあれかけて、客が歌ってワーっ！でいいの。それで終わりだから。だから音楽的に評価されてコード進行が変とか言われても、土曜日はアレでみ

んな歌ってるんだよ〜って感じだからなんでもいいんだよ、別に。土曜日かけるのでみんな歌って下さい！

●最近ハマっている事は？

ハマっている事はDJとサッカーしかないからね。ワールドカップまであと2ヶ月!!でも趣味じゃないんだよサッカーは。ライフワークとかじゃなくて、サッカーはオレの一部なの(笑)。命がけだから、好きとかっていう表現じゃないんだよ。もう、だからワールドカップはオレが戦うつもりで会場に足を運ぶね。まずは一次リーグを突破しないとね。新聞でも書かれていたけど、開催国が一次リーグ突破出来なかった事って今まで一度もない。今回の組分けは他の組分けより予選突破の可能性がちょっとだけ高くてそれは確かなんだけど、でも「確実」ってスポーツ新聞とかで書く訳よ。ホントやめて欲しいの、アレ。ロシアだってホント強いし、ヨーロッパ予選を勝ち抜いて来ている国に「予選突破確定」なんて、なにそれえ〜って思っちゃうんだよ。オレはねえその安心感みたいなものが怖くて。ロシアもベルギーも本当に強い。でもね、現実には厳しいけど3戦全勝できたいね。でも危ないよ、マジで。ホントに心配。大変だよワールドカップ。オレはファンじゃなくてサポーターだから、例えばロシア人で日本代表の文句言ってる人がいたらなんだコラって。オレの代表だ！くらいだからね(笑)。

●お客さんに一言。

土曜日に来て楽しいから楽しんで下さい。あとは、6月はサッカーしか見ません(笑)！視聴率100%にならなきゃおかしいよ。視聴率80%でも納得出来ないもん。残りの20%は何を見てるんだ、この国をあげての一大事にお前ら何やってんだって。あとね、チケット取れて日本戦を見に行く人は必ず青いユニフォームを着て行きなさいと。じゃないと自分の国でやる意味がないから。青いユニフォーム買っただけで青いTシャツでも何でもいから、必ず青で行きなさいと。これ絶対マジで！会場全部が真っ青になるくらいでいかないと勝てないよロシアに。白いTシャツ着て来る人がいたらその場で青にぬってでもいいって法律にしてもいいくらい青を着ていかないとダメ。それは韓国でも同様。共同開催なんだから日本人でも韓国の試合を見に行くなら赤いユニフォームやTシャツを着て行きなさいと。それが日本と韓国のワールドカップを成功させる一つの要因でもあるから。全員青じゃないとお仕置き！あとスタジアムのゴミはちゃんと拾いましょう。

DJ HAZIME PRESENTS ROC-A-FELLA MIX

Now On Sale!
UICJ-1003 / ¥2,548 tax in
www.defjam.jp